

「ささえ」

2015年4月発行 情報誌 第51号

発行NPO福祉用具ネット事務局

住所: 福岡県田川市伊田4395(福岡県立大学内)

TEL/FAX: 0947-42-2286

E-mail npo-fukusiyounet@sage.ocn.ne.jp

HP <http://www10.ocn.ne.jp/~npofynet/enter.htm>

情報誌「ささえ」は年4回(1月・4月・7月・10月)発行しています。

印刷 よしみ工産(株) 北九州市戸畑区天神1丁目 13-5

福祉用具はあなたの自立をささえます。

あなたのささえがNPO福祉用具ネットを元気にします。

【商品名】自動排泄処理装置
尿吸引ロボ「ヒューマニー」



夜ぐっすり眠れるから
昼間頑張れる!



【発売元】ユニ・チャーム ヒューマンケア(株)

【商品名】床ずれ防止用ハイブリッドマットレス
「アルファプラ ソラ」

SORA



新発売
ハイブリッド型
車いす用クッション

【商品名】
アルファプラ
ソラ クッション



【発売元】(株)タイカ



特定非営利活動法人
NPO福祉用具ネット

「大切な芽を皆さんのやさしさに包まれながら育てていきたい…」

おむつメーカーから介護現場の皆様へ
高齢者の気持ちを配慮した「排泄ケア用品」の選び方
ニシキ(株) 健康事業部 江副 正典

介護現場のおむつの在り方が大きく変化！

【おむつから下着へ 紙パッド併用の布パンツ】

紙尿とりパッドを保持するために使われていたパンツ型紙おむつ、テープ止め紙おむつといったアウトターを布製のパンツホルダーに置き換える動きが生まれています。布製のアウトターに替えることで排泄ケアに関わるランニングコストが大きく下がるだけでなく、利用者さんの健康状態も改善していきます。

1. おむつは下着です。

色々な問題で、おむつを必要とされる方にとって、おむつは、日常的に使う『物』となってきます。

ただ、介護者や利用者の利便性や機能性だけでは不十分な『物』になります。

ご本人にとっては、日常的に毎日使用する『物』ですから下着と同じくらい大切になります。

2. 布のホルダーパンツ(ソ・フィット パンツ)

布のホルダーパンツは、紙おむつ（テープ止め紙おむつやパンツ型紙おむつ）に比べて通気性や肌触りがよく、肌に優しいものです。紙の尿とりパッドを固定する力もすぐれています。

主に綿素材で伸縮性に富み、股部にしっかりと紙の尿とりパッドが固定でき股部からの漏れを防ぎます。このパンツは何よりも、履き心地の良さと下着らしさが大きな利点です。

また、布製のパンツですので洗濯して何度でも使用でき、経済的でゴミにならず「地球環境にもやさしいエコ商品です。」

3. ソ・フィット 商品（男女区別した商品）

商品の機能性に加え、男性用・女性用とデザイン性と男女のカラーを取り入れ区別をしています。布製ならでの工夫です。

4. ソ・フィット ロングタイプ

紙尿とりパッドを固定するための、フィット性のよい布製パンツです。伸縮性・固定力があり、体に優しくフィットし、漏れの原因となる隙間をなくし、パッドをしっかり保持できます。

紙尿とりパッドのみの交換で、おむつ交換の手間が軽減できます。



『ソ・フィット ロングパンツ』

【ソ・フィット ロング特徴】

- ① 商品を1枚・1枚編み上げて作っているので縫い目がありません。その為、ウエストの伸びも良く履きやすい商品です。
- ② お腹は締めつけずやさしく包み込みます。伸縮性のある網組織が、身体にやさしくフィットし、パッドのズレ落ちを、股部の尿とりパッドはしっかり固定できパッドのズレが少なくズレによる漏れが少なくなります。

5. ソ・フィットガード「オープンスタイル」

パンツをきちんと履くことで、紙パッドをしっかりとホールドして、漏れを軽減しようという発想から前が大きく開くデザインにしました。

【オープンスタイルの特長】

- ① 前を開けるだけで、全部脱がずにパッド交換ができます。前を開けてもズレ落ちない構造です。あてやすく、確認しながらパッド交換ができます。
- ② 腿の付け根部分をしっかりとフィットさせ、尿パッドをホールドし漏れを防ぎます。
- ③ 腹部にループがありパンツの開け閉めが楽です。



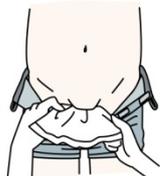
『ソフィットガード オープンスタイル男性用』
【使用方法】



足の間にパッドを入れ、パッドがおしりのラインに合うように調整します。



ホルダーの後ろ部分を上げてパッドがとまるようにします。



立体ギャザーがソケイ部に沿うように前部分をしっかりと整えます。



パッドがずれないように腰のループを引っ張って前を止めます。



男性用はさらにソケイ部のループを引っ張ります。

6. 紙おむつパンツ型・テープ止めと比較して！ (介護職の方・利用者の方の声)

○ 床ずれリスクを持つ療養者さんの状態では、

紙パンツはフィット性が無く、パッドを併用して使うには伸縮性のある布パンツの方が漏れることも少なく良い。尚、紙おむつの重ね使いは股部が「もこもこ」で見た目も布パンツがすっきりしている。紙おむつは、どうしてもおむつという感じがするが、布パンツは下着の感じがあり利用者にとっても、気持ちの上でも非常に良い。

○ 紙おむつのテープ止めタイプは、サイズを合わせる事が難しい。又、フィット感が無く、テープが接着しづらい。その点、ソ・フィットはフィット感が良く肌触りも良い。

○ ソフィットパンツはフィットして使いやすい。肌ざわりも良い。

○ 通気性が良く、パッドのホルダー感がしっかりしており安心感がある商品。洗濯し繰り返し使用でき経済的。

7. ソ・フィット パンツ導入事例

(A施設)

排泄ケアを考える時、下着の役割は大きな意味をもっています。生活する中で、肌に優しくなじみ違和感をもたないなどです。様々なパンツを試してみましたが、ソ・フィットが一番満足できるものでした。

(B施設)

紙パッドと防水性のおむつカバーを使用していた。利用者の方は介護度及びADLの違いがあるにも関わらず、元気の方もおむつだったので、下着感覚に変えていくことで導入。導入時はコットンパンツを使用していたが、洗濯後の耐久性が無く伸びてきてフィット性が無くなり漏れが発生してきた。ニシキのソ・フィット パンツは、耐久性があり伸縮性も変わらず漏れの原因も無くなった。

8. 経済性の比較 年間 46,600円 安い！

【1年間利用した場合の経費の比較 (1人)】

1人1年分 紙おむつのみ		ソフィット+紙パッド	
紙/布パンツ	80円×1.8回	2,300円×3枚	(洗替)
	52,560円	6,900円	
紙パッド	40×5.1回	40×5.1回	
	74,460円	74,460円	
年間費用	127,020円	81,360円	
年間差額		45,660円	

下着感覚で着用できる、ソ・フィットシリーズの製品を、是非一度お試しになりませんか？

NPO福祉用具ネット ものづくり支援センター のご紹介

ものづくり支援センター長 坂田 栄二
 昨年度4月から、「ものづくり支援センター」が活動を始めたのをご存知ですか？
 今日は、その詳細をご紹介します。

1. 簡単に言えば。

福祉用具を開発する企業様に、現場で使いやすい用具をしっかりと作って頂くために、開発支援をする部門です。

2. いつまでも元気に。目指せ「健康寿命の延伸」

日本の社会保障費は、どんどん増え続けていることは良く知られていることです。

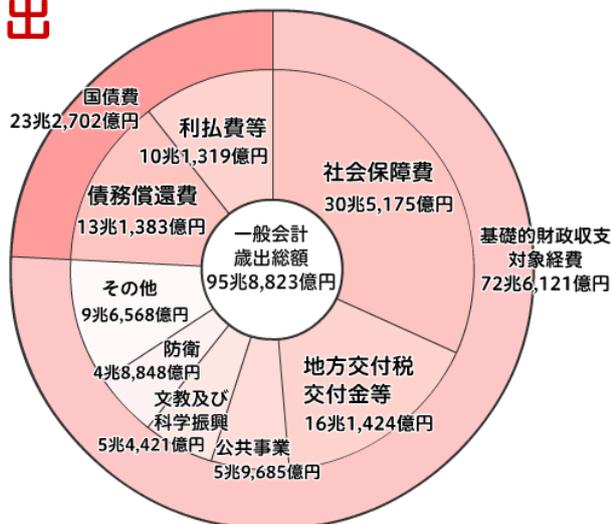
現在、国の一般会計歳出総額約9兆6兆円のうちの1/3（約3兆1兆円：厚労省レベル）が社会保障費になっています。

（財務省ホームページ）

さらにこの社会保障費3兆1兆円の中を区分けしてみると、医療関係1兆1兆円、介護関係3兆円、福

平成26年度一般会計予算

歳出



祉関係5兆円、年金関係1兆1兆円となり、これらを合計すると、なんと厚労省の年間予算の97%に達します。

（厚労省は新規事業に投入する予算はほとんど持たないということでしょうか？）

このような社会保障費の増加は今後、さらに加速して膨らんでいきます。

平均寿命は世界トップになるまで延び続けていますが、すべての人が健康ではなく、医療介護の制度を使っている以上、増加を避けることはできそうにありません。そこで国は、「健康寿命の延伸」を打ち

出してきました。

健康寿命とは、健康上の問題がなく、日常生活に支障が出ない期間を指しますが、平均寿命よりも10年近く短い状況です。つまりこの10年間は、医療、介護のお世話にならざるを得ませんので、医療費などが大きくなっています。

3. あなたも「ピンピンキラリ」を

平均寿命と健康寿命の差を縮めるということは、端的に言えば「ピンピンコロリ」状態ということでしょう。（最近「ピンピンコロリ」の語感のイメージが悪いので「ピンピンキラリ」と言うようです。）いつまでも健康に問題なく、社会生活をするために活躍するのが、介護・福祉用具です。

高齢化すると、身体機能の低下は避けられません。その時に介護用品のお世話になると、自立した生活が送れます。

4. 国は新規参入に期待

国は、現在の介護用品をもっと自立生活にふさわしいものになるように、企業に開発を呼びかけています。特に、産業構造が変わりつつある現代において、その変化に追従できない企業に新しい仕事として介護用品の分野に新規参入するように呼びかけ、各種の助成金や委託金で参入支援をしています。

これで参入環境は整うのですが、新規参入企業にしてみたら、医療・介護業界のことはよく理解できていませんし、なんとなくとっつき難い業界と感じており、どんな商品を開発したらよいのか皆目判りません。

その上、企業は、新しく技術を開発して用具を完成させるのではなく、いま持っている自前技術で開発をした方が効率が良いと思っています。しかし、そのような技術は、部分的にしか使えません。

5. 無理して作った介護用具

それでも企業は、自前技術で何とか解決しようとするために、結局は不完全なものしかできません。技術に自信はあっても、企画に自信はありません。

この困った状態で初めて、NPO福祉用具ネットに来られます。

「こんな商品を作ってみたんですけど・・・」
 と言われても、どう対応して良いのかわかりません。

「誰に使ってもらうのですか？」

「あの先生から『こんなものが欲しいが。』と言われたものですから。」

「その使う人と会って話をしましたか？」

「いいえ。多分こうやって使うだろうと思って。」
 と試作品の使い方を説明してくれるが、そのような使い方をする人は、今まで見たこともありません。

「こんな時はどうするんですか？」

「さー・・・判りません。」

どの相談も初回は、ほぼこのようなパターンの会話を終わります。

何か月もかけて、沢山のお金を使って出来たものであっても不十分としか見えない。会社としては、期待して人材を投入し、将来を夢見たのではないのでしょうか。

実は、これまでの話は、私の企業在職中の話であります。数千万円の開発費をつぎ込み、大勢の社員や協力企業を巻き込んで、わくわくしながら開発し完成させた試作品も、一瞬で水泡に帰したのであります。

その後、このテーマは開発を中止されました。

6. 「現場第一」で開発を

その後、NPO福祉用具ネットで働くようになって驚いたことは、NPOに来所する人たちのテーマは、同じような運命を辿ったことでもあります。

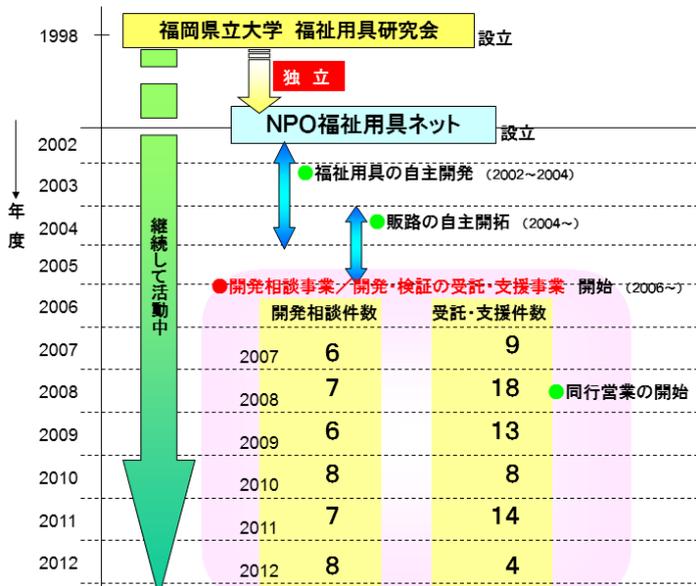
本当に必要とされる用具を開発するには、やはり現場を知ることが大事ではないのでしょうか。

わたしの失敗も、現場を知らず「多分こうであろう」と机上の設計しか行わなかったことにあります。机上であれやこれやと想像しながら、良かれと思って設計したものは何の役にも立たなかったのです。

そこで、もっと勉強しなくてはならないと猛省して福祉用具研究会に参加してみたものの、次は研究会メンバーの話している言葉が全く分かりません。

これでは、現場に入っても病院や施設の人からヒアリングすることもできません。

言葉が判らないので展示会に行っても、展示者に何をどのように聞いたら良いのか、どこが新しくて、どこに課題があるのかもわからない。異文化とはこういうものかと寂しい気がしました。

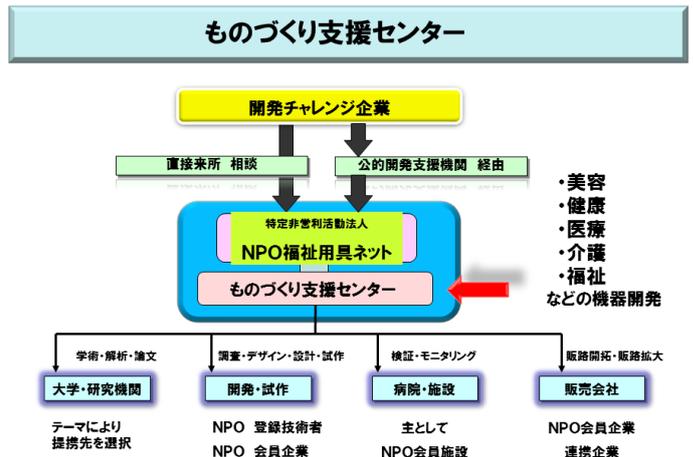


その後、研究会の指導もいただき、福祉用具の開発に本格的に踏み込んで、NPOと共同開発をつぎと進めることができました。

7. ものづくり支援センターの開設

今、多くの企業が医療・介護機器業界への参入に動き始めています。

私と同じ無駄な開発の道を歩むことなく、開発を進めていただくために、NPOはこれまで培った開発技術、現場や産学連携ネットワークなど多くの資源を活用して、これら企業を支援するために「もの



づくり支援センター」を開設しました。

センターは、NPO福祉用具ネットの所在地と同じ場所に、平成26年4月1日にオープンしました。関心のある方は、是非お越しください。

ものづくり支援 の 概要

こんな支援をします

1. 新技術・新製品開発の支援
(企画、デザイン、試作、検証、法律・規制調査、許認可申請の支援)
2. 産学官共同開発の支援
(企業-大学 企業-企業とのマッチング、委託・助成事業 申請支援)
3. 技術交流の促進
4. 技術情報の提供

こんな専門家が支援します

- ・医師
- ・看護師
- ・保健師
- ・理学療法士
- ・作業療法士
- ・産業カウンセラー
- ・社会福祉士
- ・介護支援専門員
- ・介護福祉士/介護士
- ・福祉用具専門相談員
- ・福祉住環境コーディネーター
- ・防犯設備士
- ・ISO/薬事法/電気用品安全法等規則管理者
- ・福祉用具プランナー
- ・大学、専門学校教員
- ・リハエンジニア
- ・企画職
- ・開発・設計・品質管理職
- ・プロダクト/グラフィックデザイナー
- ・知的財産管理技能士
- ・医療機器情報コミュニケーター
- ・危険物取扱者

支援内容は、特に福祉用具のデザインから始まり試作品の実験検証、知的財産の相談など多岐に亘りお受けします。もちろん、本センターだけでは対応できない内容もありますので、その際は、必要な技術を研究機関や大学などとのマッチングを行います。詳細は次号をお読みください。

(つづく)

新規の介護事業所をご紹介します！
(株)四葉ケアサービス ケアプラン・訪問介護事業所
代表取締役 是松 きくゑ

1. 会社概要

平成 26 年 3 月 (株)四葉ケアサービス設立
平成 26 年 5 月クローバーケアプランセンター開設
平成 26 年 5 月クローバー訪問介護ステーション開設

2. 事業所の特徴

弊社代表はケアマネジャーの資格と共に看護師の資格を保持し、介護保険発足時から訪問看護ステーションの管理者を務めてまいりました。代表としてケアマネジメント・訪問介護の両方の事業所を統括し、利用者様ごとの社内カンファレンスでも看護師としての視点でケアプランや介護計画を考えています。

その為、医療依存度が高い利用者様でも在宅生活のご希望があれば長年培った医療機関との協力関係や看護師目線でのケアで、安心して楽しい在宅生活を送られるお手伝いをさせていただきます。

3. クローバーヘルパーステーションのご紹介

ホームヘルパーや介護福祉士が要介護・要支援状態にある方に対して、ご自宅を訪問して必要な身体介護や生活援助の支援を行います。

医療依存度が高い方でも住み慣れた我が家で安心して生活していただけるよう、少しでも皆様のお役に立ちたいと願っています。

利用者様のご自宅を訪問し、より良い生活を送っていただける様お手伝いさせていただきます。

【事業の種類】 指定訪問介護・指定予防訪問介護

【事業所番号】 4072100623

【住所】

〒820-0504 福岡県嘉麻市下臼井 574 番地 1

【電話番号】 TEL0948-62-3063・FAX0948-62-3073

【営業日】 月曜日～金曜日

※ 休日は土・日曜・祝祭日・12月30日～1月3日・8月13日～15日

【受付時間】 8:30～17:30

※必要なサービスは上記の曜日・時間以外も行っていきます。

【実施地域】 飯塚市・嘉麻市・桂川町

※上記以外の地域の方もお気軽にお問合せください。

【併設事業所】 クローバーケアプランセンター

【利用料金】 利用料金は厚生労働省の定める介護報酬に基づきサービス種類・時間により定められています。

4. クローバーケアプランセンターのご紹介

ご自宅で自立した日常生活を送るために、介護サービスを利用される方のニーズに即した個別の支援計画「ケアプラン」を作成し、サービス事業所との連携・調整を行いながら、お一人おひとりにふさわしいサービスが受けられるようにお手伝いいたします。ご相談内容

例えばこんなご相談

- ・・・年をとって一人暮らし。寂しさと不安がある
- ・・・自分で外出できず毎日がつまらない
- ・・・介護することに疲れきって・・・
- ・・・介護保険、使い方がわからない 等々

上記のようなご相談をお受けすることができます。その対象となる方の状態にあった対応を皆さんと一緒に考えますので、おひとりで悩まずお気軽にご相談ください。

【事業の種類】 指定居宅介護支援事業

【事業所番号】 4072100615

【住所】 〒820-0504 福岡県嘉麻市下臼井 574 番地 1

【電話番号】 TEL0948-62-3063・FAX0948-62-3073

【営業日】 月曜日～金曜日

* 休日は土・日曜・祝祭日・12月30日～1月3日・8月13日～15日

【受付時間】 8:30～17:30

【実施地域】 飯塚市・嘉麻市・桂川町

【併設事業所】 クローバー訪問介護ステーション

【利用条件】 要介護

5. ホームページのご案内

NPO 福祉用具ネットのホームページの中の【会員事業所様 HP】コーナーに、四葉ケアサービスのホームページができました。是非ご覧になって下さい。
<http://npofukusiyougu.sakura.ne.jp/yotubakeasa.html>

6. ひとことメッセージ

NPO 福祉用具ネットの会員メンバーさんと上手に連携して協力し合えるネットワークのメンバーとしてサービスの提供ができたかと考えています。

お互いに知識や力を補い合える仲間になりませんか!また、職員の資質向上のために、NPO 福祉用具ネットなどの主催する研修会を積極的に受講し、研鑽に努めたいと思います。

少しでも前向きに挑戦する姿勢を忘れないでいたいと思っています。

皆様、よろしくお願ひ致します!

2015年も盛りだくさん！！

研修会・交流会・学習会

今年もNPO福祉用具ネットは、さまざまな視点から研修会・交流会・学習会を開催します。今回はその中から上半期の研修会のご案内をさせていただきます。是非、ご参加下さい！

1. 研修会

【コミュニケーションと心のケア】

コミュニケーションは、人と人の繋がりにとって重要な役割を持っています。そして、そのコミュニケーション方法も会話のみならず、様々なツールが多岐に渡って私たちを取り巻いています。

ちょっとした事で、互いに上手く意思が伝わらなかったり、心が傷ついたりすることもあります。

日常的な会話も、その内容を理解することによって、人との繋がりを円滑にします。この研修会に参加することで、新たなツールを手にいれませんか。

■パート1 (5月30日)

テーマ「コミュニケーションの原理と自分を見つける3時間」

コミュニケーショントラブル・まずは自分を知らう・ひとりひとりの会話は異なる・自分を知らう。コミュニケーションの基本を考える・手段による情報量の違いとは・自分の考え意思はどのくらい伝わる？性格から見る会話傾向・・・など

■パート2 (7月4日)

テーマ「組織のコミュニケーションを考える3時間」

組織におけるコミュニケーション・信頼とは・現場で求められるものとは・報告・連絡・相談とは・相手によく思われるための基本とは・礼儀を考えよう・・・など。

■パート3 (8月20日)

テーマ「癒しとはなにかを考える3時間」

貴方の疲れ度をチェックしてみよう・癒しとは何？会話における癒しの効果とは・組織における癒しとして、会話の効果を経験してみよう。傾聴練習・傾聴の姿勢・手順・・・など。

2. 学習会

介護技術は、介護する方が安全に且つ負担がないようにしないと、利用者の方にも安全に負担がないようにはできません。

NPOの理事が、今まで行ったNPO研修会の技術と、自分自身で研鑽した技術を皆様に伝えていく学習会です。

■日時5月30日 第1回目

テーマ「動作介助とポジショニング技術学習会 学んだ技術活用できていますか？」

これまで4回開催した、下元佳子先生（うえるば高知）から教わった動作介助とポジショニング技術を、もっと現場で使えるようにNPOの理事であるリハ職が総力をあげて支援する学習会です。取り敢えず第1回を開催し、その後の学習計画はみんなで計画したいと思います。これまで受講された方、是非ご参加ください。2回目以降はこの時に決めます。

3. 交流会

皆さんと相互交流型の意見交換の場として、昨年度より交流会を開催しています。

研修や学習会と違い、テーマに対してそれぞれの立場でざっくばらんに意見を出し合うアットホームな企画です。いろんな職種の方が参加されることで、あらたな視点や気づきを得ることが出来ますよ。

■交流会① (6月20日)

テーマ「高齢者の口腔ケアについて語ろう！～ドライマウスへの対応と実演」

高齢者の口腔ケア、ドライマウスへの対応について歯科医師の廣瀬先生の講義を聞いて、歯科衛生士の木村氏より実演を学びます。その後、私たちが支援している高齢者のケアについての質疑応答を行います。関わっている各々の事例で困っていることについて、相談できるような交流会です。困難事例の相談を是非お持ちよりください。

■交流会② (7月4日)

テーマ「抱えあげない介護技術をしよう！体験学習会」

トランスファーボード・スライディングシートなどを使った抱えない介護技術を習得できる体験型学習会です。対象者の身体状況に応じてどのように体を動かしたらよいか、リハの専門職に教えてもらいましょう。

■交流会③ (7月25日)

テーマ「現状の排泄ケアの課題について一緒に考えましょう！」

尿失禁の問題、オムツの種類と当て方の基本、ポータブルトイレや自動排泄処理装置の選び方と使い方など、現場における排泄ケアのあり方について今一度検討してみませんか。

9月以降の予定は次号（ささえ52号）でご案内いたします。 編集委員 朝比奈

＜27年1月から3月までの事務局のうごき＞

12月前号のつづき

- 12月8日 開発相談（東京）
- 12月9日 開発相談（福岡）
- 12月16日 事例相談
- 12月17日 開発相談（事務局）
- 12月19日 開発相談（福岡）
- 12月22日 事業化支援打合せ会議（事務局）
- 12月23日 開発相談（福岡）

1月

- 1月7日 開発相談（福岡）
- 1月13日～15日 東京出張（企業からの依頼）
開発相談（福岡）
- 1月19日 研修会計計画打合せ
- 1月15日 開発相談（事務局）
- 1月21日 開発相談（北九州市）
- 1月22日 事例ヒヤリング調査
開発相談（福岡）
- 1月24日 事例ヒヤリング調査
事例相談
- 1月26日 開発相談（東京）
- 1月27日～28日 名古屋出張（企業からの依頼）
- 1月29日 医工学連携フォーラム（飯塚市）
- 1月31日 事例ヒヤリング調査

2月

FJC協会見学会企画調整

- 2月3日 開発相談（福岡）
- 2月5日 開発相談（事務局）
- 2月6日 事例相談
- 2月9日 事例相談
開発相談（福岡）
- 2月13日 開発相談（福岡）
- 2月14日 理事会
- 2月15日 福智町認知症セミナー
- 2月16日 坂田副理事長大学にて講義
開発相談（福岡）
- 2月18日 会員ホームページアップ
- 2月19日 開発相談（福岡）
- 2月23日 開発相談（東京）
- 2月25日 打ち合わせ会議（佐賀）

3月

情報誌ささえ51号発行準備

- 3月2日 事業化支援打合せ会議（事務局）
- 3月5日 開発相談（福岡）
- 3月17日 開発相談（長崎）

お知らせ

【事務局長のブログ】コーナーをご利用下さい。
会員の皆様へ、いち早く情報をお知らせしています。

<http://npo-fukusiyougunet.sblo.jp/>

平成27年度通常総会のご案内

- 日時 平成27年5月9日土曜日
10時30分受付 11時開始
- 場所 福岡県立大学附属研究所大セミナー室
- 議案 1.平成26年度事業報告及び決算報告の件
2.平成27年度事業計画及び予算案の件
3.役員補充の件
4.その他

会員の皆様は議決権がありますので、必ず出欠届の提出をお願い致します。欠席の場合も委任状をご提出くださいますようお願い致します。

出欠届及び委任状は情報誌とともに送付していますのでご確認ください。

会員の皆様全員、出欠のお返事をお願い致します。

4月から7月までの確定している行事

4月4日(土) 理事会 14時から

4月20日(月) 福祉用具研究会予定

4月25日(土) 午後 大分ロボケアセンター見学

5月9日(土) 11時から通常総会

5月9日(土) 14時から17時 研修会①

コミュニケーションと心のケア【パート1】

コミュニケーションの原理と自分を見つめる3時間

5月30日(土)10時から17時 学習会①

動作介助とポジショニング技術学習会

6月20日(土)13時30分から16時30分 交流会①

高齢者の口腔ケアについて語ろう！

ドライマウスへの対応と実演（康和会と共催事業）

6月27日(土)14時から17時 研修会②

コミュニケーションと心のケア【パート2】

組織のコミュニケーションを考える3時間

7月4日(土)13時から17時 交流会②

抱え上げない介護技術を習得しよう 体験学習会

7月25日(土)13時30分から16時30分 交流会③

現状の排泄ケアの課題について一緒に考えましょう！

～今年度のトピックス～

■10月31日は西日本国際福祉機器展にて、大淵哲也先生をお招きして、シーティングやポジショニングについて一日学べるように計画しました。受講料は無料ですが事前申し込みが必ず必要です。（福祉住環境コーディネーター協会との共催事業ですが、NPO福祉用具ネットの会員さんはNPO福祉用具ネット事務局でも申し込みを受付けます。）

■12月12日・13日はオムツフitter3級の研修会を開催致します。申込締め切りは9月末となっています。早めにお申込み下さい。（むつき庵との共催事業）申込の受付はNPO福祉用具ネットで受け付けます。